

札幌医科大学基礎医学研究棟改修計画

平成31年3月

北海道公立大学法人 札幌医科大学

目 次

1 概要

(1) はじめに

(2) 概況

(3) 整備の方針

2 改修内容及びスケジュール

(1) 主な改修の内容

(2) 改修スケジュール

(3) 概算事業費

1 概要

(1) はじめに

札幌医科大学は、北海道総合開発の一環として、昭和 25 年に旧道立女子医学専門学校を基礎に、戦後の新制医科大学第一号の医学部医学科の単科大学として開学し、また、平成 5 年には札幌医科大学衛生短期大学部を発展的に改組することにより、保健医療学部が開設され、本道で唯一の公立医科系総合大学として発展してきた。

この間、医師を始めとする多くの医療人を育成するとともに、先進医学・保健医療学の研究や高度先進医療の提供、さらには地域への医師派遣等を通じて、北海道の医療・保健・福祉の向上に大きく貢献してきた。

今後とも札幌医科大学が、北海道の地域医療を守り支える専門職や医療・保健を探究する研究者を育成するためには、教員や学生、さらに大学と共同研究を行う企業の研究者など多くの関係者にとって活動がしやすい教育研究環境の充実、さらには利用者の満足度の向上など、魅力あるキャンパスづくりが求められている。

しかし、札幌医科大学の主な教育研究施設は、昭和 40 年代前半に建設され、平成 30 年までに耐用年数が到来するなど老朽化が著しく、耐震基準に満たさない建物も存在するほか、建設当時の定員数・教育方法を基準とした設計では、現在の定員数や少人数教育など時代の変化やニーズに応じた質の高い教育環境の確保が難しくなっている。

こうした中、北海道は平成 24 年 3 月に「札幌医科大学施設整備構想」（以下、「整備構想」という。）を策定し、この整備構想に基づき、老朽化施設の解体・改築や継続使用施設の改修を進めている。

整備構想による各施設の設計は、基礎医学研究棟や保健医療学研究棟（旧保健医療学部棟）等の継続使用施設の一体的な使用を考慮した上で行われており、施設機能を十分に発揮し、整備構想の目的を達成するためには、継続使用施設の改修が不可欠となっている。

保健医療学研究棟は、教育研究施設Ⅲの完成後、平成 28 年 3 月に札幌医科大学が策定した札幌医科大学保健医療学部棟改修計画に基づき、平成 29 年度から 2 カ年で既存部分の改修を行っている。

基礎医学研究棟については、平成 32 年度の教育研究施設Ⅱ、大学管理施設の完成及び平成 33 年度の東棟の解体に合わせて、連絡通路や用途変更による改修が必要であることから、改修をより円滑に進めるため、基礎医学研究棟改修計画（以下、「改修計画」という。）を策定する。

(2) 基礎医学研究棟の概況

基礎医学研究棟は、基礎医学研究施設と図書館を含めた情報センターの整備を目的に平成 11 年 3 月に完成した地下 2 階地上 14 階建の施設である。

現在は、医学部の基礎医学部門 13 講座、附属フロンティア医学研究所 2 部門、寄付講座 2 講座の他、医療人育成センター、図書館を含む総合情報センター、教育研究機器センター、標本館等を配置している。

また、基礎医学研究棟を含めた西 17 丁目街区に所在する教育研究施設は、大学施設の一体的管理・運用のため、屋内連絡通路で接続しており、基礎医学研究棟は本部棟（平成 33 年度解体予定）と 1 階連絡通路で接続している。

名 称	基礎医学研究棟		
所 在	札幌市中央区南 1 条西 17 丁目		
建築面積	1,477.8㎡		
延床面積	20,553.5㎡		
規模/構造	屋根塔屋 2 階地下 2 階付 14 階建、鉄骨鉄筋コンクリート造		
竣 工 年	平成 11 年		
施設概要	B 2 階	機械室、電気室	1,377.7 ㎡
	B 1 階	休憩室、機械室、電気室	783.2 ㎡
	1 階	教育研究機器センター、会議室	1,477.8 ㎡
	2 階	総合情報センター（図書館、事務室）	1,345.6 ㎡
	3 階	総合情報センター（図書館）	1,442.4 ㎡
	4 階	総合情報センター（図書館）	1,442.4 ㎡
	5 階	総合情報センター（コンピュータ実習室、コンピュータ室）、寄付講座（生体工学・運動器治療開発講座）、会議室	1,363.4 ㎡
	6 階	寄付講座（再生医療推進講座）、医療人育成センター（物理学、生物学）	1,308.6 ㎡
	7 階	基礎医学部門（細胞生理学講座、神経科学講座）	1,163.6 ㎡
	8 階	フロンティア医学研究所（分子医学部門）、医療人育成センター（化学）、標本館	1,163.6 ㎡
	9 階	基礎医学部門（薬理学講座）、フロンティア医学研究所（神経再生医療学部門）、教育研究機器センター	1,163.6 ㎡
	10 階	基礎医学部門（医化学講座、分子生物学講座）	1,163.6 ㎡
	11 階	基礎医学部門（病理学第 1 講座、病理学第 2 講座）	1,163.6 ㎡
	12 階	基礎医学部門（微生物学講座、衛生学講座）	1,163.6 ㎡
	13 階	基礎医学部門（解剖学第 1 講座、解剖学第 2 講座）	1,163.6 ㎡
	14 階	基礎医学部門（公衆衛生学講座、法医学講座）	1,163.6 ㎡
塔屋	機械室、電気室	703.6 ㎡	

（3）整備の方針

大学施設の整備は整備構想に基づき必要なスペースの確保を目指し進められており、平成 30 年度までに耐用年数を迎える施設等を解体し、基礎医学研究棟等の継続使用施設との一体的な使用を考慮し新施設を整備するとともに、継続使用施設の有効活用を図ることとしている。

教育研究施設Ⅰ・Ⅱ、大学管理施設については、基礎医学研究棟との一体的な活用を踏まえて設計されており、大学施設の機能を発揮させるため必要不可欠かつ必要最小限の改修を行うことにより、整備構想で規定する教育・研究機能の充実強化を図る。

2 改修内容及びスケジュール

(1) 主な改修の内容

① 基礎医学研究棟と大学管理施設との連絡通路の設置

大学施設の一体的な使用を図るため、基礎医学研究棟と大学管理施設の1階を屋内連絡通路で接続する。

また、連絡通路には東西に出入口を設置し、連絡通路で分断される東西の動線を確保する。

② 用途変更による改修

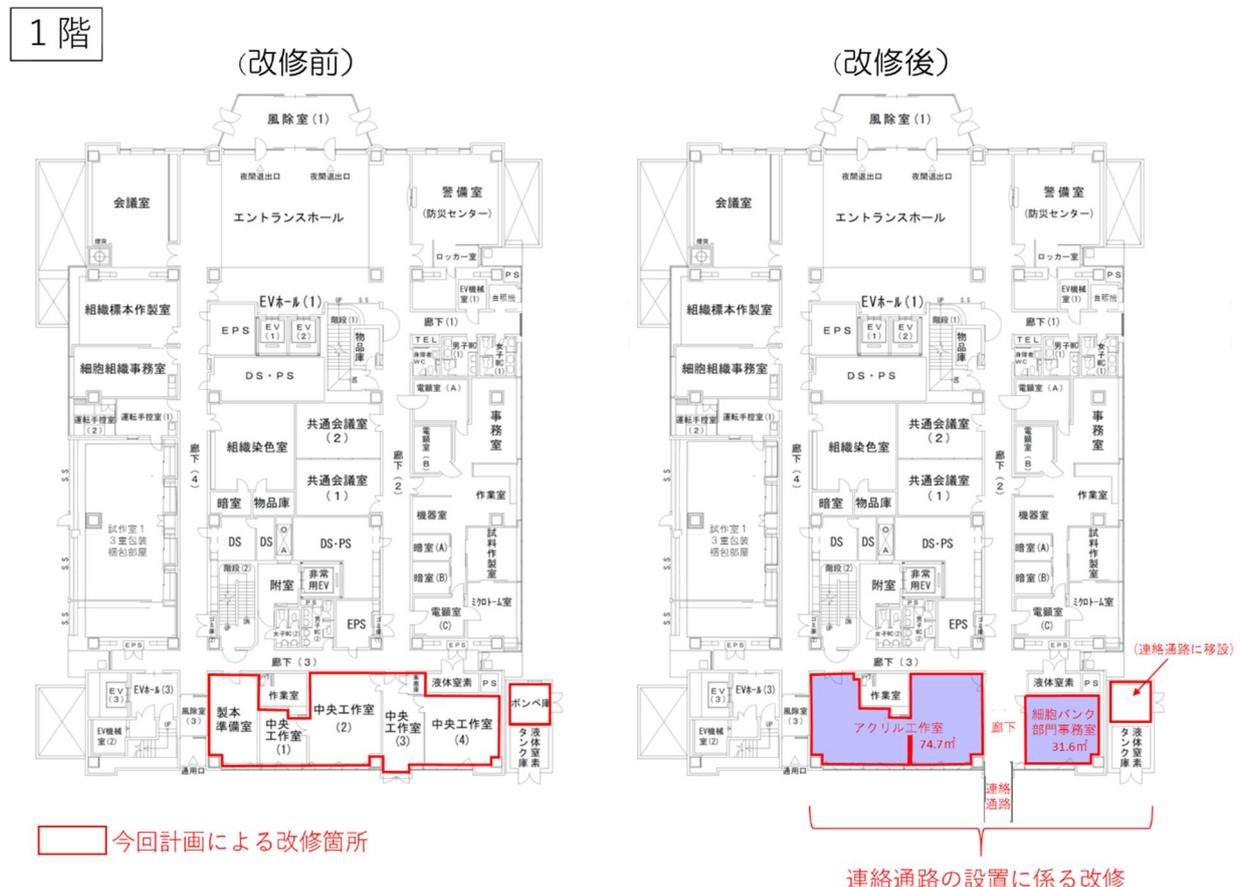
大学管理施設等の整備に合わせ、解体を予定する東棟及び本部棟等からの諸室の移転及び集約のため、用途変更の改修を行う。

③ 現行法令遡及適合のための改修

大学管理施設等の整備に合わせ、基礎医学研究棟についても、現在の建築基準法の不適合箇所の遡及適合が必要なことから、各エレベーターの該当箇所の改修を行う。

- ・昇降路の防火区画における遮煙性能を持った防火設備の設置
- ・耐震補強、主要支持部分の変更に係る改修及び器具の入替

【改修予定箇所図】

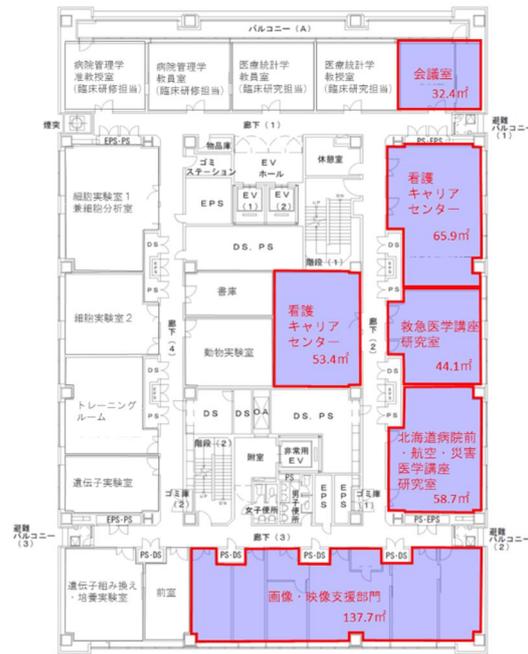


6階

(改修前)



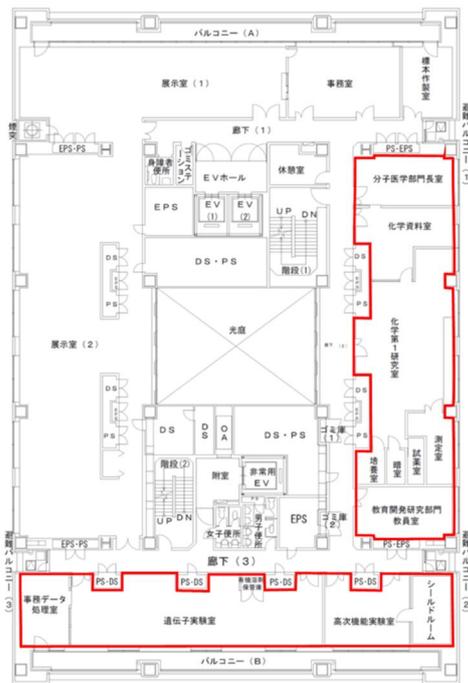
(改修後)



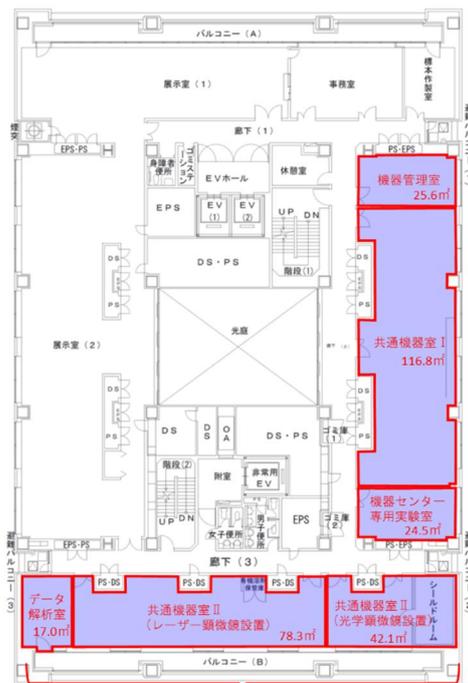
今回計画による改修箇所

8階

(改修前)



(改修後)



教育研究機器センター

教育研究機器センター

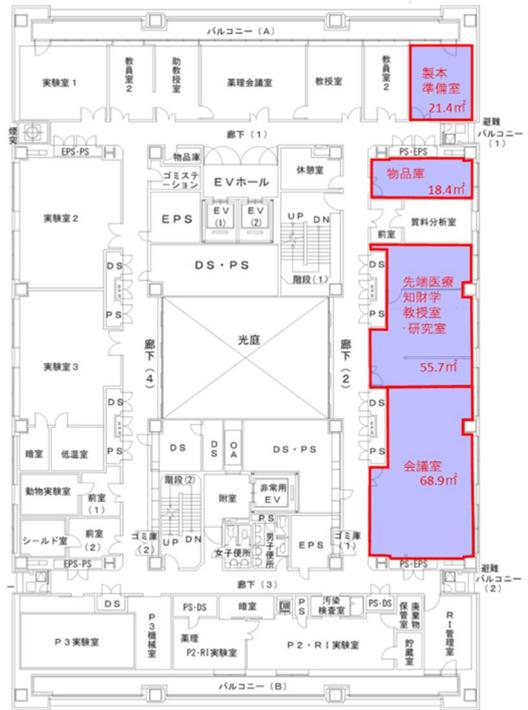
今回計画による改修箇所

9階

(改修前)

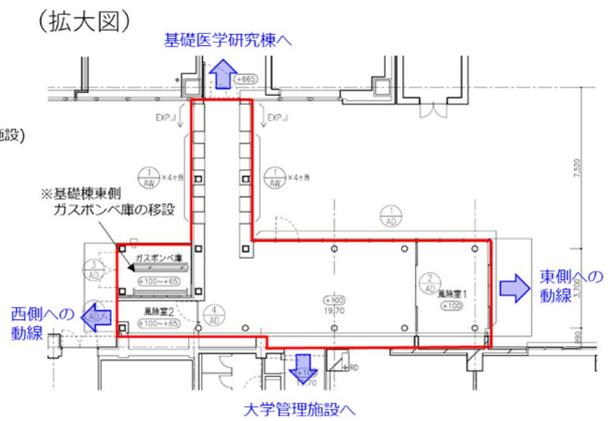
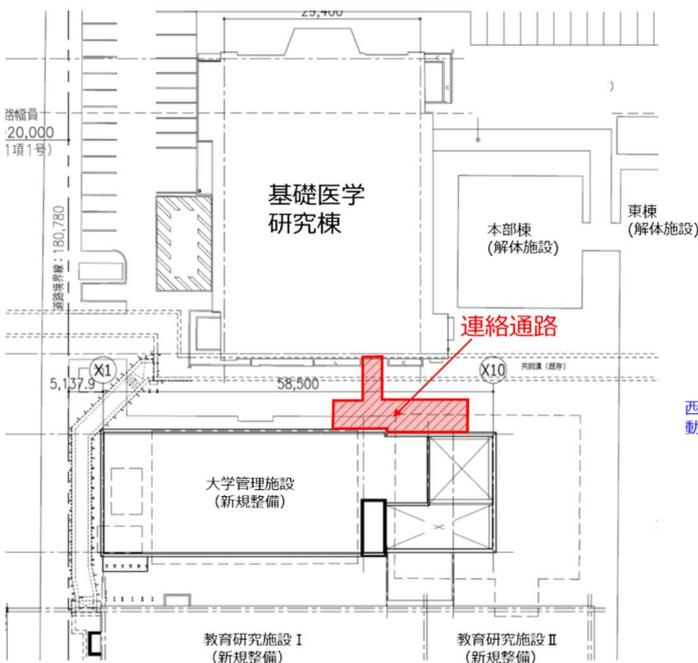


(改修後)



今回計画による改修箇所

連絡通路



既存不適格遡及工事



(2) 改修スケジュール

改修にあたっては、授業や学内行事への影響を最小限に抑えて実施する。

① 大学施設整備の全体スケジュール

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
体育館・保育所等	実施設計	建設工事									
教育研究施設Ⅰ	基本設計	実施設計	建設工事								
教育研究施設Ⅲ		基本設計	実施設計	建設工事							
保健医療学研究棟				計画策定	実施設計	改修工事					
教育研究施設Ⅱ					基本設計	実施設計	建設工事				
大学管理施設					基本設計	実施設計	建設工事				
基礎医学研究棟							計画策定	実施設計	実施設計	改修工事	
既存施設解体			体育館				南棟他			東棟他	
外構						実施設計				外構工事	
附属病院増築棟		基本設計	実施設計	建設工事							
附属病院既存棟					計画策定	実施設計	改修工事				

② 基礎医学研究棟改修スケジュール（想定）

	年月	平成31年度				平成32年度												平成33年度											
		4	7	10	1	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施設計																													
連絡通路工事 （1階内部改修含む）																													
用途変更による改修																													
現行法令適合改修																													
（参考）	教研Ⅱ・大学管理施設 建設工事																												
	東棟・本部棟解体																												

※現時点における想定であり、今後、実施設計において変更となる場合あり。

（3）概算事業費

概算事業費 約 3.3億円

【内訳】 実施設計委託費 約 14百万円

改修工事費 約 314百万円

※移転費・初度調弁費は、実施設計を踏まえ、別途検討する。